

令和 2 年度 事業計画(案)

伊賀圏域障がい福祉連絡協議会くらし部会 ヘルパー人材育成WG

1 くらし部会ヘルパー人材育成WGの役割

- ・ 各関係機関の連携により、居宅介護等サービスの質・量の向上の取り組みを行い、圏域における地域福祉サービスの安定と充実を目的とする

2 令和 2 年度 活動目標（箇条書きで3つまで）

- ・ 伊賀圏域のヘルパー事業所管の連携と相互援助体制を強化することにより、居宅介護等サービスの質・量の向上を図り、伊賀圏域における地域福祉サービスの安定と充実を目標とする

3 具体的な活動内容（箇条書きで各2つまで）

- ① 来年度活動に向けた、ワーキング会議を中心とする
 - ・ 人材不足の不合理的の分析が必要であると捉え情報収集を行う
 - ・ データ収集、分析等を中心に行い来年度の活動の土台作りを行う
 - ①事業所アンケート
 - ②伊賀市こども未来課の子育てヘルパー支援システムの情報収集- ・ 調査方法、調査内容の検討
- ② その他
 - ・ コロナ感染状況、他市等の動向を確認しながら研修開催有無を見極める

令和 2 年度 事業計画（案）

伊賀圏域障がい福祉連絡協議会くらし部会 精神障がい地域包括ケアシステムWG

1 くらし部会精神障がい地域包括ケアシステムWGの役割

- ・ 精神障がい者が地域の一員として安心して自分らしい暮らしができる医療・障がい福祉、介護、社会参加、住まい、地域の助け合い、教育が包括的に確保された地域包括ケアシステムの構築を目指す。

2 令和 2 年度 活動目標（箇条書きで3つまで）

- ・ 多職種で構成されるWGメンバーにより、日常生活圏域における課題を整理して本会議に地域包括ケアシステムの構築に向けての提言を行う。
- ・

3 具体的な活動内容（箇条書きで各2つまで）

① 県「地域包括ケアシステムチェックリスト」課題に対するニーズ調査

- ・ チェックリスト評価の低かった項目について調査を行う
 - ①「住まい」の項目について検証
 - ②「レスパイト」の項目について検証

- ・ 調査方法、調査内容の検討

- ・ 結果をデータ化し、本会議へ報告

② その他

- ・ 追加WGメンバーについては、随時検討する。

令和 2 年度 事業計画（案）

伊賀圏域障がい福祉連絡協議会就労部会 雇用啓発WG

1 就労部会雇用啓発WG の役割

- ・ 就労のステージ(雇用の場・就労福祉サービス、地域活動参加等) の多様な環境を整え、積極的な社会参画ができる地域を構築していく
- ・

2 令和 2 年度 活動目標（箇条書きで3つまで）

- ・ 福祉から就労に向けた計画推進と障がい者の就労定着や雇用促進に向けた啓発
- ・ 雇用の場の開拓と啓発
- ・

3 具体的な活動内容（箇条書きで各2つまで）

① 他機関主催イベントへの参画

- ・ 障がい者就職面接会
中止：伊賀公共職業安定所主催の集団面接会は縮小実施予定のため
- ・

② 企業訪問の実施

- ・ 対象企業、訪問時期を再検討したうえで継続実施（夏以降実施）
夏以降実施：訪問件数は減らしたとしても実施（状況変われば随時対応）
啓発内容：就労定着と雇用促進（詳細は今後検討する）

③ 企業向け研修会の開催

- ・ 研修会運営方法等の検討（秋頃）

④ その他

- ・ 追加WGメンバーについては、今年度は行わない
- ・ スポットとして企業側のメンバーも参画については、研修方法等により検討

令和２年度 事業計画（案）

【資料２】

伊賀圏域障がい福祉連絡協議会就労部会 事業所連絡会WG

1 就労部会事業所連絡会WGの役割

- ・ 福祉と労働が連携し、障がいのある人の多様な働き方を考察し実現する
- ・ 障がいのある人が活躍できる就労活動の実現に努め、ひとりひとりが豊かな暮らしを送ることを支援する

2 令和２年度 活動目標

- ・ 事業所間コミュニケーションを図り、ネットワークを構築する
- ・ 仕事の共同受注についての仕組みを作る

3 具体的な活動内容

① 事業所連絡会の活性化について（時期 ９～11月）（担当者 全員で分担）

- ・ 事業所間の訪問と交流（コロナウイルス禍の影響も含め訪問調査予定）
- 全事業所（28ヶ所）の訪問を、WGメンバーと事務局で分担して実施する
- 訪問調査の共通フォーマット作成

② 事業所連絡会の開催について（時期 1月下旬～2月上旬）

- ・ 事業所間のコミュニケーションを図ることを目的に開催する
- ・ 事業所間訪問により抽出した課題をテーマに挙げる
- ・ グループワーク中心に計画する

③ 事業所MLの運営について（開設時期 7月）（担当者 上野ひまわり作業所）

- ・ 仕事の共同受注の仕組み作りとして運用
- ・ NPO法人「えん」からの仕事提供
- ・ 三重国体の情報収集

④ 三重国体の取り組みについて

- ・ 県、市の情報収集（特に本大会に向けての情報）（時期 随時）

⑤ 事業所現況報告書の活用について

- ・ 圏域の就労系事業の課題の抽出に活用する（就労部会にて議論）

⑥ 事業所ガイドブックについて（時期 3月）

- ・ 内容の変更確認をして、更新したものをアップデート

⑦ その他

- ・ 就労アセスメントの運用について（事務局からの提案に基づいて関係する部署にて検討）
- ・ 就労移行支援事業の在り方について、事業所側からの提案を行う

（伊賀・名張両市の就労移行支援事業所から意見を求めた後に、就労部会にて議論）